

大府高校野球部OB会役員会 次第

日 時 平成23年 7月10日 (日)
午後3時～
場 所 大府高校 会議室

1 平成23年度会費の納入依頼について

(1) 平成22年度の会費の納入状況

(2) 納入率の向上を目指して

① 連絡体制の強化

② コンビニ収納の導入

→ OB会報で案内

2 野球部・OB会の近況報告

(1) スコアボードの設置

(2) 野球部の活動

3 その他

大府高校野球部OB会役員会協議・報告事項及び議事録

日時 平成23年 7月10日(日)午後3時～午後3時40分
場所 大府高校 3階 会議室

<協議事項>

1. 平成23年度会費の納入依頼について

- (1) 平成22年度の会費の納入状況
- (2) 納入率の向上を目指して
 - ① 連絡体制の強化
 - ② コンビニ収納の導入

【説明内容及び依頼事項】

- ・平成22年度の会費の納入率が、約15%と大変低い。
- ・野球部の支援体制は、「OB会」と「後援会」の2つの組織がある。各々の役割としては、後援会は現役選手や監督、コーチの活動費などを負担、OB会は年間の運営費のほか、卒業生が全国大会に出場した時の激励費などを負担している。
- ・後援会の運営費は、全国大会に出場した時の収入の一部を、全国大会出場後援組織から充当している。
- ・後援会の収支については、毎年、会費等収入額より支出額が上回っているため、繰越金が年々少なくなる。現状、後援会で負担してきた現役選手への支援が、今までどおりできなくなってきた。(別添資料、「大府高校野球部の支援体制」を参照)
- ・当面、OB会で現役選手への支援をしていくため、今年度からOB会費の納入率を上げていきたい。
- ・OB会費の納入率を上げるための方策として、OB会員への連絡体制の強化とともに、コンビニエンスストアから会費を納めることができるようにする。
- ・野田新監督の就任を契機に、若い世代を中心に会費の納入率を上げていきたい。今回、昭和60年度から平成22年度までの連絡網を作成した。(別添資料、「昭和60年度～平成22年度連絡網」参照)
- ・7月下旬を目途にOB会報を発送し、今年度の会費の納入を呼びかけていく。
- ・会費の未納者に対しては、各年度の理事や連絡担当者から今回作成した連絡網をもとに、会費の納入を促してもらう。
- ・同年の人数が多い場合は、年度理事以外に複数の連絡担当者をつくるのが望ましい。特定の人に負担がかかり過ぎないように注意してもらいたい。

<報告事項>

2. 野球部・OB会の近況報告

(1) スコアボードの設置

【報告内容】

- ・昨年のドラフトにおいて、読売巨人軍に入団した小山選手からの寄付により設置できたことを報告

(2) 野球部の活動

【報告内容】

- ・野田監督より近況報告

(案)

大府高校野球部OB会連絡体制（昭和60年度卒業～平成22年度卒業）

年度	役員名	年度	役員名	年度	役員名	部員数
S62	鈴木秀規	S62	鈴木秀規	S60	浅野幸治	25
				S61	及川 豪	12
				S62	高山卓也	10
				S63	高木和志	8
		H元	大阿見陽二	H元	大阿見陽二	8
				H2	池戸康之	18
				H3	池戸智元	13
		H4	蟹江裕二	H4	永山友之	20
				H5	本吉朗雄	22
				H6	森田啓介	14
		H7	太田雅之	H7	中野雅巳	31
				H8	遠藤真吾	35
				H9	浅野弘一	29
H4	蟹江裕二	H10	吉野史高	H10	崎尾淳一郎	25
				H12	北郷 翔	31
H7	太田雅之	H11	植木 孝	H11	新美泰樹	21
				H13	高井俊輔	19
H4	蟹江裕二	H14	石黒 力	H14	石黒 力	27
				H15	下村祥太	44
				H16	小西浩貴	43
		H17	鈴木紀良	H17	喜多村祥久	45
				H18	安藤良介	22
				H19	長深田貴志	36
H17	鈴木紀良	H20	長尾俊光	H20	長尾俊光	39
				H21	下村政智	27
				H22	榊原慶典	20

大府高校野球部の支援体制

OB会

【目的】OBへの支援

【役員構成】OBのみ

【収入】

- ・OBからの年会費

【支出】

- ・ホームページの管理費
- ・会報の印刷製本費、通信費
- ・OBへの激励費（全国大会出場など）
- ・弔意費
- ・その他OB会事業費
- ・野球部の運営費

後援会

【目的】現役選手・監督・コーチへの支援

【役員構成】学校、同窓会、PTA、伊勢木会、父母の会、OB会

【収入】

- ・役員からの会費
- ・全国大会出場後援基金から運営費を充当

【支出】

- ・夏の大会前の激励品
- ・卒業生への記念品
- ・弔意費
- ・練習試合の審判の弁当代
- ・監督、コーチのユニフォーム代

今後の運営は・・・

OB会の負担増

- ・会費収入のみでは運営費を賄えない。
- ・基金から充当した運営費は、毎年目減りしていく。

- ・練習試合の審判の弁当代は「OB会」で負担
- ・監督、コーチのユニフォーム代も要検討